

# 羽田空港のこれから



## FUTURE OF HANEDA AIRPORT

「羽田空港のこれから」について  
皆様の声を是非お聞かせください。

国土交通省は、日本の豊かな暮らしを将来の世代に引き継ぐため、羽田空港の国際線を増便し、世界との結びつきをさらに深めていく（国際競争力を高める、海外との交流を深める）必要があると考えています。その具体化に向けた検討を進めるにあたっては、まず関係自治体の協力も得つつ、その必要性や実現方策について、できる限り多くの方々に知っていただけるよう努めていきたいと考えています。また、住民の方々の多様なご意見をきめ細やかに伺った上で、平成28年夏までに環境影響に配慮した方策を策定していきます。

「羽田空港のこれから」について、皆様の声を是非お聞かせください。

羽田空港のこれから



# Q1

## 羽田空港とは どんな空港ですか？

地方と首都圏、  
そして世界をつなぐ  
大切な役割を  
果たしています。

4本の滑走路と3カ所の旅客ターミナル(国内2、国際1)があります。また、都心からの距離はわずか15kmとアクセスも便利です。国内外に豊富な航空ネットワークを有し、首都圏と世界をつなぐだけでなく、羽田空港を通じて地方と世界もつないでいます。

Chart >>>

# Q2

## なぜ羽田空港の国際線の増便が 検討されているのですか？

日本を発展させていくためには、  
より一層、海外との交流を  
深めていくことが課題です。

国際社会においてグローバル化が急速に進む中、日本の経済・社会を成長させるには、諸外国との結びつきを深める必要があります。しかし日本は、成長著しいアジア諸国と比べて、海外との往来が少ないのが実情です。私たちや私たちの次の世代が豊かな生活を実現するために、国際線の増便が必要です。



# Q3

## 国際線の増便にはどんな メリットがあるのですか？

海外からビジネスや  
観光などでの訪日が増え、  
首都圏だけでなく全国を元気にします

<p>ビジネスしやすい環境を整え、首都圏の国際競争力を強化</p>	<p>羽田空港の豊富な国内線と国際線を結び、地方を元気に</p>
<p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会を円滑に開催</p>	<p>より多くの外国人観光客をお迎えして、国内の消費を活性化</p>

## 数字で見る 羽田空港

(2014年のデータより)

### 国内線



利用客  
1日約  
**170,000**人



発着数  
1日約  
**1,000**回



就航先  
**48**都市

### 国際線



利用客  
1日約  
**29,000**人



発着数  
1日最大約  
**170**回



就航先  
**17**カ国  
**25**地域  
**25**都市



しかし現在、羽田空港は  
深夜・早朝の時間帯を除いてフル稼働。  
このままでは国際便を増便することはできません。

# Q4

どのようにすれば  
便数が増えるのですか？

滑走路の使い方・  
飛行経路を  
見直すことにより  
国際線の便数を  
増やすことができます。

東京湾上空は大変混雑しており、仮に新しい滑走路を作ったとしても、発着回数はほとんど増やすことはできません。新しい滑走路を作らなくても、滑走路の使い方を見直し、これに合った飛行経路を設定することで、発着回数を増やすことができます。

## POINT

南風と北風が多くみられる羽田空港では、風向きに合わせて2通りの滑走路の使い方があります。それぞれについて、より効率的な使い方を検証しました。



15:00-19:00の  
時間帯については



**15:00-19:00** 南風の時は、都心側から到着、海側(川崎沖・木更津沖)へ出発する方法が最も効率的。この滑走路の使い方に合わせて飛行経路を設定することで、発着回数を増やすことができます。



6:00-10:30及び  
15:00-19:00の  
時間帯については



**6:00-10:30**  
**15:00-19:00** 北風の時は、現在の滑走路の使い方が最も効率的。飛行経路を見直すことで、発着回数を増やすことができます。



滑走路の使い方・飛行経路などを見直すことにより、深夜・早朝時間帯以外の国際線について、最大で年間約3.9万回(約1.7倍)の発着回数の増加が可能となる試算となります。

# Q5

今後の検討は、  
どのように進むのでしょうか？

概ね1年の期間をかけ、  
二段階のプロセスに分けて  
検討します。

議論を段階的に整理しながら進めていきます。住民の方々の多様なご意見を伺った上で、平成28年夏までに、環境影響に配慮した方策を策定していきます。

2015

2016

2017-2019

2020

多様な手法を組み合わせた広報活動

プロセスの決定

フェーズ①  
住民の皆様との対話

フェーズ②  
住民の皆様との対話

環境影響に配慮した  
方策の策定

フォローアップ等

機能強化方策の実施

東京オリンピック・  
パラリンピック  
競技大会開催

フェーズ [必要性や実現方策等]

1

国際線増便の必要性や実現方策等について情報を提供。皆様の声から課題を整理し共有します。

フェーズ [対策や運用方法等]

2

環境対策、新飛行経路の運用方法等、皆様のご意見を伺いながら、環境影響に配慮した方策を策定します。

日本の経済・社会にとって、  
とても重要な役割を担う羽田空港。  
私たちは、どのような選択をしていくべきでしょうか。  
「羽田空港のこれから」について、  
皆様の声を是非お聞かせください。

## ご意見窓口



WEBSITE

国土交通省ホームページに特設ページを設けています。

<http://www.mlit.go.jp/koku/haneda/>

羽田空港のこれから

検索

上記ホームページ内に  
皆様のご意見を伺うための  
窓口を設置しています。



COMMENT CARD

説明会（オープンハウス型）では、  
コメントカードでご意見をお寄せいただけます。  
また、コメントカードを  
後日郵送いただくこともできます。



TELEPHONE

電話でのご意見は

**Tel 0570-001-160** (IP電話からは、03-5908-2420)

『国土交通省「羽田空港のこれから」に関するご意見窓口』  
受付時間：平日 9:30～18:00

 国土交通省

